

うららの里だより

夜ごとの虫の音に、深まりゆく秋を感じるころとなりました。
9月4日(日)、毎年恒例、うららの里納涼祭が行われました。
心配された天気も回復し、多くの皆様にご参加頂き、楽しい
1日となりました。

納涼祭ハイライト

名シーンとともに振り返りましょう。



三津和会の皆様と
一緒に盆踊り
^ (^o^ ^) (^o^ ^) /
^ (^o^ ^) (^o^ ^) /



今年もこの季節が
やってきました
(^v^)



泉区から
「いっずん」
も遊びにきて
くれました

職員有志による、
勇壮なソーラン節
(((^ω^)))



来年もどうぞお楽しみに！

敬老祭

平成28年9月28日(水)

ボランティアの横井様に、落語と南京玉すだれをご披露頂きました。→



これからの介護老人保健施設の役割 ～健康寿命の延命～

介護老人保健施設うらの里は平成14年5月1日に開設致しました。入所定員は100名(内50名は認知症専門棟)で、通所定員は29名です。お陰様で開設より15年目を迎えました。

さて、皆様は介護老人保健施設とは 病院からの転院先の一つであるとの認識をお持ちのようです。たしかに介護老人保健施設は「中間施設」としての役わりも担っています。

中間施設とは「入院後、病気は良くなったが、身体機能が低下し、在宅に退院させても日常生活を送るのに難がある方」を一定期間お受入れし、リハビリ等の医療サービスを提供して、ある程度身体機能を回復させてから在宅にお戻りする機能を有する施設のことです。中間施設としてのイメージが強いので、多くの方が「病院に入院してからでないと利用できない施設」とお感じになられているのではないのでしょうか。

実は介護老人保健施設はもっと敷居が低く、使い勝手の良い施設なのです。介護老人保健施設は「クリニック+有料老人ホーム」に近い機能を有しています。医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護職員等が施設基準に基づいて配置されており、提供できる介護サービスは次の4種類となります。

- 一、入所・・・・・・・・・・1か月以上の宿泊利用（上限日数なし）
- 二、ショートステイ・・・・・・・・1か月未満の宿泊利用（最短一泊二日）
- 三、通所リハビリ・・・・・・・・日帰りでリハビリ、お食事、入浴を提供
- 四、訪問リハビリ・・・・・・・・ご自宅に理学療法士等が赴き、リハビリを提供

無理な在宅での介護生活を送り続けることは、ご家族様にも過度な負担をかけることになり、介護離職等を選ばれる方も現れてきます。医師や看護師が配置され、利用者様の状態管理ができる介護老人保健施設の活用は、時にご家族様のレスパイト（家族の休息）にもなります。

健康寿命とは要介護者にのみ適応する言葉ではありません。ご家族様も含まれます。無理をしすぎない介護こそが、皆様の健康寿命の延命になると考えます。疲れたとお感じになられましたら、担当のケアマネージャーもしくは直接ご連絡いただければ、当施設の相談員がご相談承ります。